

基本目標・重要業績評価指標（KPI）の完了値一覧（令和3年度）

I 圏域全体の経済成長のけん引

基本目標	指標	基準値(H27)	現状値	目標値(R3)
	圏域内総生産額	4兆3,376億円 (H25)	4兆8,906億円 (R1)	4兆5,500億円
	圏域内観光入込客数	18,513千人 (H27・暦年)	11,902千人 (R2・暦年)	23,000千人 (R3・暦年)

評価の基準

- ◎: 完了値が目標値を達成している
- : 目標値に達していないものの、基準値に対し、上昇している
- △: 目標値に達していないものの、基準値に対し、横ばいである
(変動率±0.5%の範囲内)
- ×: 目標値に達しておらず、基準値に対し、低下している
- : 事業の実施前等により評価不能

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(H27)	完了値(R3)	目標値(R3)	基準値に対する完了値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする		第2期ビジョン 取組事業
						状況認識・要因分析等	
①圏域経済データ等の活用	研修参加人数	—	46人/年	50人/年 (H30~R3)	○	新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、当初は集合・対面形式で予定していた研修を一度延期し、改めてWEB形式での開催とするなどし、一定の研修会開催実績を確保した。	○
②地域産業創出・新商品開発促進	岡山ヘルスケア産業連携協議会の会員数	85者 (H28)	155者	155者	◎	関係市町の情報共有等の連携により、目標値を達成した。	
③企業立地・支援	担当者会議の回数	—	2回/年	2回/年 (R2~3)	◎	企業立地における雇用の創出や人材の確保に関して、共通課題等の情報共有の手法について協議した。	
④中小企業の経営健全化・人材確保等支援	連携市町からの合同説明会への参加企業数	—	8社	8社	◎	目標値どおりの参加企業数となった。引き続き、参加者数の確保のための取り組みを実施していく。	○
	小規模企業向けセミナーの参加者数	—	30人/回	30人/回	◎	目標値は達成しているが、より参加しやすいセミナー実施を目指して、R4は、オンラインとリアルハイブリッド型セミナーを開催することにより、広域開催のデメリットを克服していく。	
⑤新規需要創出・喚起促進	地域資源PRセミナー参加者数	—	521人(累計)	500人(累計)	◎	CLTセミナーの開催により、普及促進が図られ目標値を達成した。	○
⑥特産農産物PR	岡山市主催の地産地消マルシェ来場者数	8,000人 (H28)	0人	10,000人	×	新型コロナ感染拡大防止のため、例年のブース出展等によるマルシェ開催ができなかったため、目標値を下回る結果となった。	○
⑦食品製造業見本市共同出展	商談成約件数	—	98件(累計)	770件(累計)	○	見本市出品補助の商談成果(5年平均:16件/社)を基に、目標値(20件/社)を設定しているが、出展者の中には見本市出展経験が浅い企業が多く、また、新型コロナウイルス感染拡大による影響により令和2年度、令和3年度は出展を取りやめたため、1社あたりの成約件数は平均3.1件程度になった。この結果を検証しながら、各市で実績の上昇に向けた取組を検討していく。	○
⑧中小製造業海外販路開拓支援	商談成約件数	—	0件	6件(累計)	△	従来海外企業との商談成立までには一定の時間を要することに加え、新型コロナウイルスの世界的感染拡大の影響で動きが中断された状態であるため、0件となった。	

事務事業名	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(H27)	完了値(R3)	目標値(R3)	基準値に対する完了値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする		第2期ビジョン 取組事業
						状況認識・要因分析等	
⑨伝統工芸品発信	協力店舗数	—	4店舗	10店舗	○	市単独で協力店舗候補のリストアップが困難であったため、目標値を達成することができなかった。	
⑩圏域内周遊に向けた歴史・文化資源発信	圏域内観光入込客数	18,513千人 (H27・暦年)	11,902千人 ※(R2・暦年)	23,000千人 (R3・暦年)	×	H27年度のプレ・デスティネーションキャンペーン以降、西日本豪雨災害をはじめとする気候変動等の影響により低下していたが、R1年度は増加に転じたものの、新型コロナ感染拡大に伴う緊急事態宣言などにより、観光入込客数が低迷した。今後は、新型コロナの影響による観光ニーズの変化を踏まえながら、日本遺産等の資源を活用したプロモーションの実施により目標達成を目指す。	○
⑪岡山型ヘルスツーリズム拠点化	ムスリム観光客宿泊者数	859人	283人	4,059人	×	旅行博出展及び商談会参加による現地プロモーションにより、新型コロナ感染拡大前は基準年と比較して宿泊者数は増加していたが、新型コロナ感染拡大に伴い外国人観光客の受入制限により宿泊者数が激減している。本取組は全国的にも先進的な取組として評価されており、今後も、インバウンド需要回復期に向けた継続的なプロモーションにより、ムスリム観光客の誘致を図る。	○
	観光入込客数	11,493千人 (H27・暦年)	5,635千人 ※(R2・暦年)	15,307千人 (R3・暦年)	×	H27年度のプレ・デスティネーションキャンペーン以降、西日本豪雨災害をはじめとする気候変動等の影響により低下していたが、R1年度は増加に転じたものの、新型コロナ感染拡大に伴う緊急事態宣言などにより、観光入込客数が低迷した。目標達成に向け、SNS等による情報発信や、プロガーや現地旅行会社の招請ツアー等の実施や、ピーチマーク取得店舗の拡充による受入環境整備等の取組を継続する。	
	ハラル認証及び岡山おもてなし基準を満たした店舗・施設数	5店舗(施設)	63店舗(施設)	71店舗(施設)	○	ムスリム対応の可能性がある店舗への訪問・支援により、新型コロナ感染拡大前においては店舗数、新型コロナの影響に伴う閉店などにより店舗数が減少した。今後はピーチマーク取得店舗のブラッシュアップを目指し、圏域内の各店舗に継続した働きかけを行うとともに、ピーチマーク取得店舗の情報発信を行い、2市1町への誘客に活用する。	
⑫アートイベントとの連携による情報発信	イベントでの情報発信回数	—	— R1年度事業完了	5回/年 (H30～R1)	—	—	○

※R3の数値が公表されていないため、現状値を記載

II 高次の都市機能の集積・強化

基本目標	指標	基準値(H27)	完了値(R3)	目標値(R3)
	JR岡山駅の乗降人数	13.2万人/日	9.8万人/日	14.4万人/日

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(H27)	完了値(R3)	目標値(R3)	基準値に対する完了値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする		第2期ビジョン 取組事業
						状況認識・要因分析等	
⑬地域高規格道路「空港津山道路」の整備促進	要望・啓発活動等の実施実績数	1回/年 (H28)	4回/年	3回/年	◎	要望活動や勉強会の開催を踏まえて目標値を設定しており、達成ができた。	○
⑭中国横断自動車道岡山米子線による交流促進	交通量の推移 (賀陽IC～北房JCT)	9,183台/日	7,313台/日	10,000台/日 以上	×	新型コロナウイルス感染拡大の影響により観光などの人流が停滞したことが原因と考える。	○
⑮岡山市と早島町を結ぶ国道2号等幹線道路の渋滞対策の促進	(市)藤田浦安南町線事業進捗率 (事業費ベース)	36% (H28)	100%	100%	◎	目標を達成し(市)藤田浦安南町線の供用を開始することができた。	○
⑯ESD実践	ESD・SDGsの理解を深める研修会参加者数	—	422人(累計)	450人(累計)	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修が中止となり目標値を下回った。	○
⑰瀬戸内の海洋保全	清掃活動への参加者数	—	1,371人/年	1,500人/年	○	新型コロナウイルス感染症の影響によるイベント中止があったが、今後も感染症対策を行いながら清掃活動への参加を呼びかけていく。	○
⑱気候変動対策	共同実施事業数	—	1事業	1事業	◎	目標どおり実施することができている。	○
⑲NPO法人等の「こんなことができますリスト」等の情報発信	広域の「こんなことができますリスト」掲載団体数	—	20団体	25団体	○	NPO法人を対象とした説明会開催に合わせ、掲載を呼びかけなどを行い、掲載数は順調に増加していったが、掲載による効果を感じてもらえなかったため、近年は掲載数が鈍化した。	○
⑳官民協働事業の促進	官民協働事業交流会の参加者数	—	394人(累計)	240人(累計)	◎	実践者から協働するに至った過程(事業立案から実施)を学び、事業効果を知る岡山市市民協働推進事業報告会を行い、岡山市関係部署、各市町の担当者に協働事業の取組を理解し、考える場の提供ができたため、目標を達成することができた。	○
㉑多様な主体による課題解決マッチング	多様な主体の協働による課題解決のための広域マッチング件数	—	9件(累計)	14件(累計)	○	ワークショップの開催に加え、令和2年度からコーディネーターを派遣するなど、連携市町の協働取組等のマッチングを図ることで、マッチング件数は順調に増えた。	○
㉒市民活動ノウハウ移転支援	市民活動ノウハウ移転件数	—	1件(累計)	1件(累計)	◎	R1に久米南町のNPO法人にノウハウを移転し、目標を達成することができた。	○
㉓地域における協働の仕組みづくりに関する情報交換	地域協働フォーラムでの地域協働事例の発表数	—	22件(累計)	25件(累計)	○	地域協働フォーラムにおいて、岡山市だけでなく連携市町に拠点を置く団体も含めて事例報告への参加を呼びかけ、発表団体は順調に増えた。	○

Ⅲ 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

基本目標	指標	基準値(H27)	完了値(R3)	目標値(R3)
	圏域内市町の5年間の転入超過者数	663人(累計) (H23～27)	▲4,674人(累計) (H28～R2)	700人(累計) (H28～R2)

事務事業名	重要業績評価指標(KPI)	基準値(H27)	完了値(R3)	目標値(R3)	基準値に対する完了値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする		第2期ビジョン 取組事業
						状況認識・要因分析等	
㉔地域包括ケアシステム構築 推進連携	連携して行う人材育成事業の実施回数	—	— R2年度事業完了	6回/年 (H29～R2)	—	—	
㉕保育園等の広域入所	入所手続きに係る来庁回数が1回以内の相談者の割合	—	100%	100% (H30～R3)	◎	目標どおり実施することができている。	○
㉖学校教育に関する情報共有	情報共有した特色ある取組件数	—	9件/年	50件/年 (H29～R3)	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、研修等が中止となり目標値を下回った。	○
	担当者会議の回数	—	5回/年	10回/年 (H29～R3)	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議が中止となり目標値を下回った。	
㉗交流学习	交流学习の実施回数	—	1回/年	3回/年 (R1～3)	○	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、交流が中止となり目標値を下回った。	○
㉘「ファジアーノ岡山」、 「岡山シーガルズ」の支援	「ファジアーノ岡山」ホームゲーム平均入場者数	8,404人 (H26)	4,153人	12,000人	×	新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛により、入場者数が低迷し、目標を下回る実績値となった。	○
	「岡山シーガルズ」ホームゲーム平均入場者数	3,397人 (H26)	843人	4,500人	×	新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛により、入場者数が低迷し、目標を下回る実績値となった。	
㉙大規模なスポーツ大会等の 受入体制の整備	中国地区以上の規模のスポーツ大会の誘致件数	—	3件(累計)	2件(累計)	◎	目標どおり実施することができている。	
㉚有害鳥獣対策研究	担当者会議の回数	—	0回/年	2回以上/年 (H30～R3)	△	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、会議が中止となり目標値を下回った。	○
㉛河川の水質改善と環境保全 推進	連携して行う自然体験行事等の実施回数	—	4回/年	10回/年	○	新型コロナウイルス感染拡大により、開催を予定した行事等の大半が中止となった。	○
㉜ごみ焼却処理相互支援	ごみ処理受入率	100% (H28)	未実施	100% (H29～R3)	—	—	○
㉝広域ごみ処理施設整備	施設稼働	—	—	施設稼働 (R8)	—	—	○
㉞御津・建部地域と久米南町 を結ぶ地域間路線の再構築	方針の決定	—	継続検討	方針の決定	—	—	○

事務事業名	重要業績評価指標 (KPI)	基準値(H27)	完了値(R3)	目標値(R3)	基準値に対する現状値の評価(目標値に達している場合は目標値に対する評価) ※基準値がないものは基準値を0とする		第2期ビジョン 取組事業
						状況認識・要因分析等	
⑤ 灘崎地域と玉野市を結ぶ地域間路線の構築	プンタクの利用者数	763人 (H30)	349人	840人	×	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減ったものと思われる。引き続き、地元検討組織とともに利用促進が図られるよう検討を行いたい。	○
⑥ 岡山市内鉄道駅と赤磐市を結ぶ地域間路線の構築	方針の決定	—	方針の決定	方針の決定	—	—	
⑦ J Rの利用促進と駅機能強化	方針の決定	—	継続検討	方針の決定	—	—	○
⑧ 岡山市と吉備中央町のバス路線の再構築	本格運行移行	—	試験運行の実施	本格運行移行	—	新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者が減少しているものの、引き続き本格運行移行に向けた協議・調整を進めていく。	○
⑨ 西大寺地域と瀬戸内市のバス路線の再構築	方針の決定	—	継続検討	方針の決定	—	—	○
⑩ 岡山空港から宇野港までの直通バスの導入	方針の決定	—	方針の決定	方針の決定	—	—	
⑪ 移住促進連携	圏域内市町の5年間の転入超過者数	663人(累計) (H23～27)	▲4,674人(累計) (H28～R2)	700人(累計) (H28～R2)	×	転入超過者数は東京一極集中を背景に減少し、目標達成に至らなかった。	○
	「GYOSANおかやま」ページビュー(PV)数	1,013PV/月 (H29)	2,715PV/月	1,200PV/月	◎	新たな広告を配信し、目標を達成した。	
⑫ パートナーシップ宣誓制度の導入促進及び都市間相互利用	情報交換会の回数	—	3回/年	3回/年	◎	目標どおり実施することができている。	○
⑬ 公共施設の質・量の適正化に向けた仕組み構築	圏域内施設状況の把握	—	— R1年度事業完了	公表 (R1)	—	—	○
⑭ 公共施設の相互利用の仕組み構築	相互利用促進事業数	—	2事業(累計)	3事業(累計)	○	令和3年度は、圏域内のスポーツ施設のチラシを作成し、相互利用の促進を図った。	○
⑮ 図書館相互利用	住民一人あたりの年間貸出冊数	5.9冊	4.9冊	6.0冊	×	新規開館した図書館や図書館数が増加した自治体があったために、数値が伸びてきていたが、新型コロナウイルスの影響によって減少となった。数値を回復していくため、サービスのPRに取り組む。	○
⑯ 子どもパスポート	パスポート掲載施設の利用者数(利用者数を把握していない2施設を除く)	1,985,063人/年 (H29)	1,384,565人/年	2,183,000人/年	×	新型コロナウイルスの感染拡大に伴う、施設の休館や人の動きの停滞によるものと見込まれる。今後も新型コロナウイルス感染症に留意した上で、施設の利用促進につながる取組を検討する。	○
⑰ 広域連携による火葬場の建設・運営	施設の稼働	—	—	施設稼働 (R6年度末)	—	—	○
⑱ 岡山芸術創造劇場を活用した文化連携	施設稼働	—	—	施設稼働 (令和5年度)	—	—	○
	方針の決定	—	継続検討	方針の決定	—	—	
⑲ 人事交流・育成	圏域内市町職員を対象とする研修実施回数	—	5回/年	5回/年 (H29～R3)	◎	人材育成に資する内容の研修を選定し、呼びかけを行った結果、うち5回の研修において圏域内市町からの参加があった。	○